

# 平成26年度 部局長マネジメント方針

つきやま しゅうじ  
総合病院事務局長 築山 秀次



## 仕事に対する基本姿勢

### 総合病院の理念

私たちはあなたのために最善を尽くします。

総合病院は、中河内医療圏における中核的急性期病院として、災害拠点病院であると同時に、厚生労働省指定の地域がん診療連携拠点病院等さまざまな役割を担い良質な医療の提供を行うことで、当院を利用される地域住民の安心・安全の一翼を担っているところです。

2025年に団塊の世代が75歳に達することから、医療法等の改正や2年に一度改定される診療報酬も大きく変わり、公的な病院だけでなく民間も含めた病院が、病院・病棟・病床機能の大きな転機に立っております。当院でも、将来にわたり急性期医療病院として持続的に安定した経営を行っていくための基盤強化を図っていく必要があります。

総合病院では、医務局、看護局、薬剤医療技術局及び事務局を合わせて約600名の正職員、これらの職員以外にも医師クラークや看護エイド等の嘱託職員、窓口委託職員など多くの人たちが医療に従事しています。病院機能の充実を図るためには医療機器などのハード面も重要であります。病院経営を支え、医療の質を支える重要な医療資源で一番大切なことは、医療に係わる優秀な人材確保とその育成が総合病院として必要なことと考えております。

また、診療所をはじめとする多くの地域の医療機関との機能分化を明確にして、当院が果たすべき医療について、市民・患者の方々にも急性期医療病院の役割を理解いただき、当院が地域での使命を果たせるよう今後も地域医療連携強化に努めてまいります。

## 平成26年度に取り組む重点課題

### 1 医療の質を支える優秀な人材確保と育成

- ・ 医師確保に向け、大学医局からの受身での姿勢ではなく病院側から積極的な提案も行

い、優秀な医師の確保を行ってまいります。

- ・ 看護師確保に向け、現在実施している採用プログラム以外にも新たな看護師確保策の提案を行い、実施してまいります。
- ・ 薬剤師をはじめとした医療技術職及び経営管理を行う事務職員の充実と育成を図ってまいります。

## **2 機能分化と連携による地域医療連携強化**

- ・ 市民や患者の方々に急性期医療病院の位置づけを理解していただくために、地域医療連携室を通じてかかりつけ医の啓発強化を図ってまいります。
- ・ 地域の医療機関と連携を行い地域医療支援の充実を図ってまいります。
- ・ 中河内救命救急センターとの連携強化を行い、急性期医療にもより一層努めてまいります。

## **3 持続的安定経営のために経営基盤の確立**

- ・ 病院経営に直結する診療情報などの分析を強化し、持続的に成長していくための企画・立案を行い経営戦略の強化を図ってまいります。
- ・ 未収金の回収と同時に、未収金発生の原因を再度精査し、確実な収納策を構築してまいります。

## **4 医師の人事評価制度構築**

- ・ 仕事の実績に報いることで、モチベーション向上・行動変容を促し、結果として医療の質の向上と業績の向上を図れるような評価制度の構築を目指してまいります。